

襲いそいで
襲わない



少し襲う
杏さや本

R18 じゃないよ。

にゅうたいぶ研究所

まどか「ここでは、今回の本で出番のない私やほむらちゃんで突っ込みとかいれていくよ〜」
ほむら「ブルーレイのオーディオコメンタリーのようなものと思ってもらえればいいわ」
キュゥペえ「メタ的な発言もあるから最初は読み飛ばすことをお勧めするよ」



「かんぱーい」

それじゃあ
魔法少女チーム結成と
その初勝利を祝して……



ほーちゃん
の誕生日ケーキは
さーごーだわー！

うひゃ、そう
言ってもらえると
用意した甲斐も
あるわね、



あーもう、少しは
遠慮なさいよ
まったく
まあたしかに
おいしいけど

「さーごーだわー」

ま「あれ？なんで魔女がいるんだろう」
ほ「いきなりだけど害はなさそうだしキシナイ方がいいわ」
Q「行き当たりばったりだね」



え、わわ、
さやか、
ちよ、まてって

ほら、じっと
してなさい

それよりあなた
もう少しきれいに
食べられないの？



う……ぐ
ま、まあわたしは
限度わかつて
ますからねー



さやかだって
ママのケーキ
けっこう
食ってるじゃん



だー！
動かないでって
言ってるでしよ
なんで離れるかな

あ、だから
ちか、近いって
バカあ

バカって何よ！
いいから
おとなしく
してなさい！

あ、いや
ホント、もう
いいって



二人とも
仲いいのね
ちよっとうら
やましいかも

ま「あれ？そういえばこのさやかちゃんたちの服って確か……」



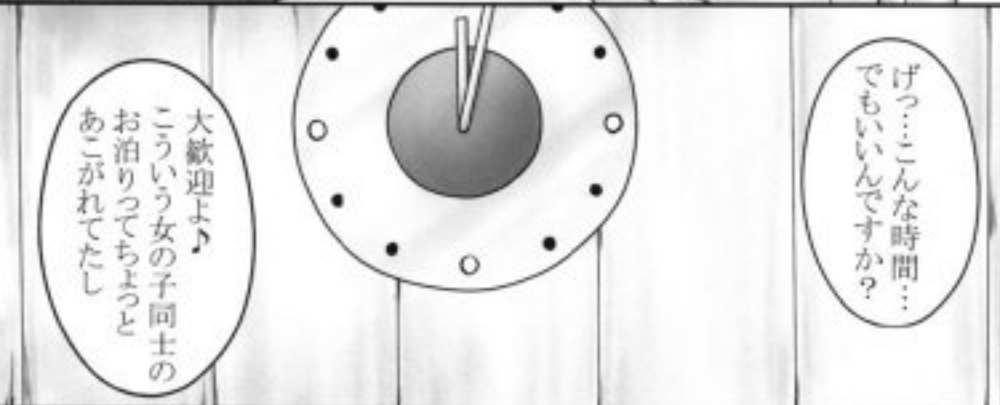
え？何言ってるんだ
さやか、別に
普通だろ？



あー……
なんか部屋
暑くない？









よ、よう…
もう酔いは
醒めたのか？



あ…

ガ
ラ
ッ



あ、なんで
杏子が、あれ、
え、え？

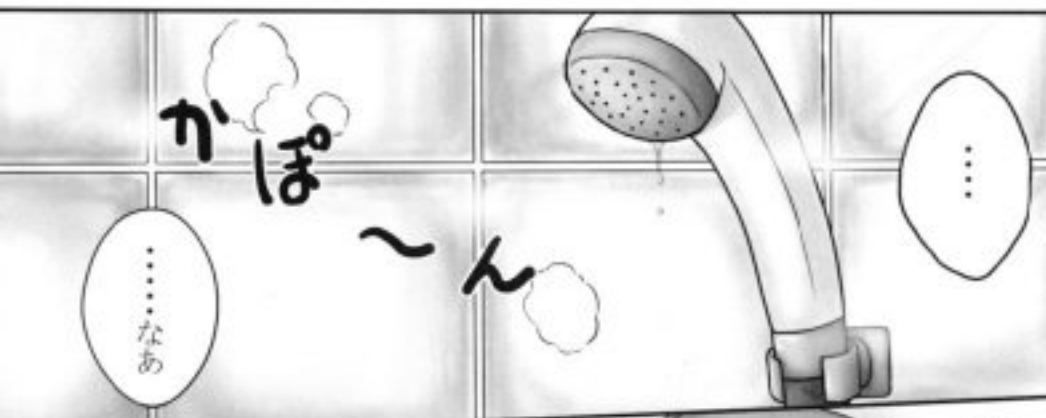
あ、杏子
生きてない

んな？

じゃなくて、
それじゃあ、
あ、こ、杏子…

ま「すごいよほむらちゃん！湯気が全然仕事してないよ！」
ま「地上波ではないから最初から修正はないわ」
ま「君たちはどうしてそんなことにこだわるんだい？」

ほ「俗に言う高橋留〇子の浴槽表現ね」
ま「ほむらちゃん読んだことあるの？」
Q「まさかあの作品が実写化するとは本当に驚いたよ。」



う、うん
少しは……
ちゅーちゅー
ちゅーちゅー

そもそも
女園さだろ

少しは
落ち着いたか



いやあああああ!!!
もうかえる、
はなしてー!!

さ、さやが!?
待てて、おい、
はだかのままだぞ!

あ、そういえば
佐倉さん入ってたけ



きゅー

わわっ



まあなんだかんだで
面白かったし
いいかあつてな

あー、それ
わかるかも



だいたいなんで
あんたまだ
いるのよ……

あー、ママのやつ
お泊り会ってすげー
はしやいでて
断り辛くてさ





さやか、
なんてこと
しやが、
ごめん！

ほれほれー♪
このくらいだの
スキンシップだって

うまーい、
ホントに、
やめ

ジュウ

あ、こら
もどなあ

おー、意外に胸
ないわけでも
ないのね
うんざり
ヤキズ



ごめんごめん

わああ!?

ふい

ま...き...たん...「バスバス」...「ほ...え...ま...ま...か...」
Q「どうやら中の人の性格が表裏にあらわれちゃってさみしいだね」



ピクッ

さ、さやかが
もうやめろって
言ってるよ
ごめん

そ、それなり
少しは抵抗くらい
しなさいよ
泣き顔でなご

あ、あ、あ

っっ!?

ふああ





それで、
こうなったのね

まったく、
二人ともしょうがない
わねえ……

は



さやかの、コホ
やつが、さあ
コホ

うう、気持ち悪い
頭痛くなってきたあ

きよ、杏子ならで
意外とリンリ
だった、じゃない

あう……

ハイハイ、美樹さんも
佐倉さんも今日は
おとなしく寝てること、
いい？

「はい……」
「わかってるき……」



メジャー？！

ばたん

ぎゃ

ふふふ……

お二人の病態はしっかり
撮らせてもらったわ

